

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

79号
2022
1.14

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。



2022 京都府立植物園カレンダー 好評発売中！ (植物園会館売店および各門にて)

← 京都府立植物園【公式】Twitterアカウント始めました！ 見頃情報を中心につぶやいています。

京都府立植物園【公式】YouTubeチャンネル始めました！ 動画で園内の様子を紹介しています。 →



第11回 新春を彩る

寄せ植えハンギングバスケットコンテスト展

- 期間：1月10日(月祝)～1月30日(日)
- 会場：北山門周辺 ～壁掛け型ハンギングバスケット&寄せ植え!
- 【ハンギングバスケット体験教室】*会場にて
- *日程：1/15(土)、16(日)、22(土)、23(日)、29(土)
- *時間：10:00～14:00随時受付
- *材料費：2,000円(別途入園料)

バラ剪定講習会

- 1月22日(土) 13:30～15:00(受付13:00～)
- 「四季咲きバラの剪定について」(講演と実演)
- ※場所：植物園会館2階研修室・ばら園
- ※講師：松尾正晃氏(まつおえんげい)
- ※ばら園で実技があります。*定員：先着60名

「第17回 早春の草花展」

～すぐそばの春～



- 2月11日(金祝)～3月13日(日) 10:00～16:00
- 大芝生地 特設会場にて・・・
- ～寒さの残るこの季節・・・
- 一足早く「春の景色」をお届けします！～

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内！

毎週水曜日は・・・
植物園会館前集合：午後1時スタート！

「副園長のほっこりガイド」

1月23日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！
植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！ ‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’などをスマホで確認し、植物観察！

第30回 洋ラン展

- 期間：2月4日(金)～2月13日(日)
- 場所：観覧温室(特別展示室)
- 内容：洋ラン約200鉢を展示！(販売あり)

洋ラン展関連 講習会 募集中！！

2/5(土) 13:30～14:30
2/7(月) (午前の部) 10:30～11:30
(午後の部) 13:30～14:30

- ★ランを使ったアレンジメント ★定員：各回10名
- ★参加費：1,500円(別途、入園料、入室料が必要)
- ★事前申込：往復ハガキに講習会名、受講希望の日・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★お切：2/2(水) ★会場：観覧温室 特別展示室

洋ラン展関連 講習会 募集中！！

2/6(日) (午前の部) 10:30～11:30
(午後の部) 13:30～14:30

- ★カタセツム他の栽培について ★定員：各回8名
- ★参加費：2,000円(別途、入園料、入室料が必要)
- ★事前申込：往復ハガキに講習会名、受講希望の部、住所、氏名、電話番号を明記 ★お切：1/27(木) ★会場：観覧温室 特別展示室

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・
植物園会館前集合：午後1時スタート！

「植物園ガイド」が植物案内！

- ～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～
- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)
- * 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
- 大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
- ※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」
2022. 1. 14
79号

⑫ カクチョウラン

ラン科。沖縄列島、東南アジアなどに分布。地面に根を下ろして生育する地生種。漢字では「鶴頂蘭」と書き、咲いた花の姿を鶴に見立て名が付いた。1mを越す長い花茎をまっすぐ上に伸ばして幅10cmほどの花を複数咲かせる。

⑪ ロウバイ

ロウバイ科。中国原産。日本には江戸時代初期に渡来したとされる。ロウ細工のような質感の花弁を持った黄色の花は、とても上品で甘い香りがすることも特徴。属名のChimonanthusはギリシャ語で「冬の花」という意味。

⑩ オオベニゴウカン

マメ科。ブラジル南部、ボリビア原産。実際は小さな花が多数集まったもので、直径5cmほどの球形となる。多数突き出た緋紅色の糸状のものは雄しべで、化粧に使うパフによく似ていることから、英名はレッド・パウダー・パフと呼ばれる。

⑨ ハボタン

アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。ハボタンはその中のケールを觀賞用に改良したもの。

① ヤマコウバン

クスノキ科。日本、中国などに分布。葉をもむとショウガに似た香りがすることから「山の香ばしい木」という意味の名が付いた。枯れ葉が「落ちない」その特徴から受験生に御利益があるとされ、植栽されている半木神社は隠れたお参りスポット。

② スノードロップ

ヒガンバナ科。ヨーロッパ各地から西アジアまで広く分布。英名のスノードロップ(雪のしずくの意味)は花の色と形から。他にも、16~17世紀に人気のあった耳飾りに似ているなど、名前の由来は諸説ある。花言葉は「希望」や「慰め」。

③ トキワムユミ

ニシキギ科。日本、朝鮮半島に分布。ムユミが落葉樹で果実の色が淡紅色であるのに対して、本種は常緑樹で果皮の色はオレンジ色である。漢字では「常磐真弓」と書き、本種が常緑であること(=常磐)が名前の由来となっている。

④ ヘリクリスム・イタリクム

キク科。地中海地域に分布。ハーブとして知られ、葉茎からカレーの香りがするため英名ではカレープラントと呼ばれる。乾燥させた後も、色や形の変化が無いことから、イモータル(不滅)、エバーラスティング(永遠)とも呼ばれる。

⑤ ジャノメリカ

ツツジ科。南アフリカ原産。釣り鐘のような形をした小さな桃色の花を咲かせ、その中心部から飛び出た黒いやくがよく目立つ。その外観が「蛇の目」の模様に見えることが和名の由来。細かい枝をたくさん分枝させる特性がある。

⑥ マンリョウ(万両)

サクラソウ科。関東以西の本州、四国、九州、沖縄などに分布。縁起の良い名前から正月飾りに使われることで知られる。古典園芸植物の一つで、江戸時代には葉が縮れたりした変異個体が選ばれて、多様な品種群が栽培された。

⑧ ナルキッスス・カンタブリクス

ヒガンバナ科。スペイン南部、北アフリカに分布。冬に白いかわい小花を咲かせる小型のスイセンの仲間、清楚な美しさが人気。特徴は漏斗状の副花冠が発達していること。開花時期は、通常12~3月。花の少ない冬の花壇を彩る。

⑦ ジャマイカポインセチア

トウダイグサ科。ジャマイカ、キューバ等のカリブ海沿岸原産。小花は6個程度の黄色くて丸い密腺と緑色の子房から構成されている。小花の根元の赤い花弁のような部分は苞葉で花粉媒介者を効率的に呼び寄せる役割を果たしている。

